

第2章 人口の推移と将来推計

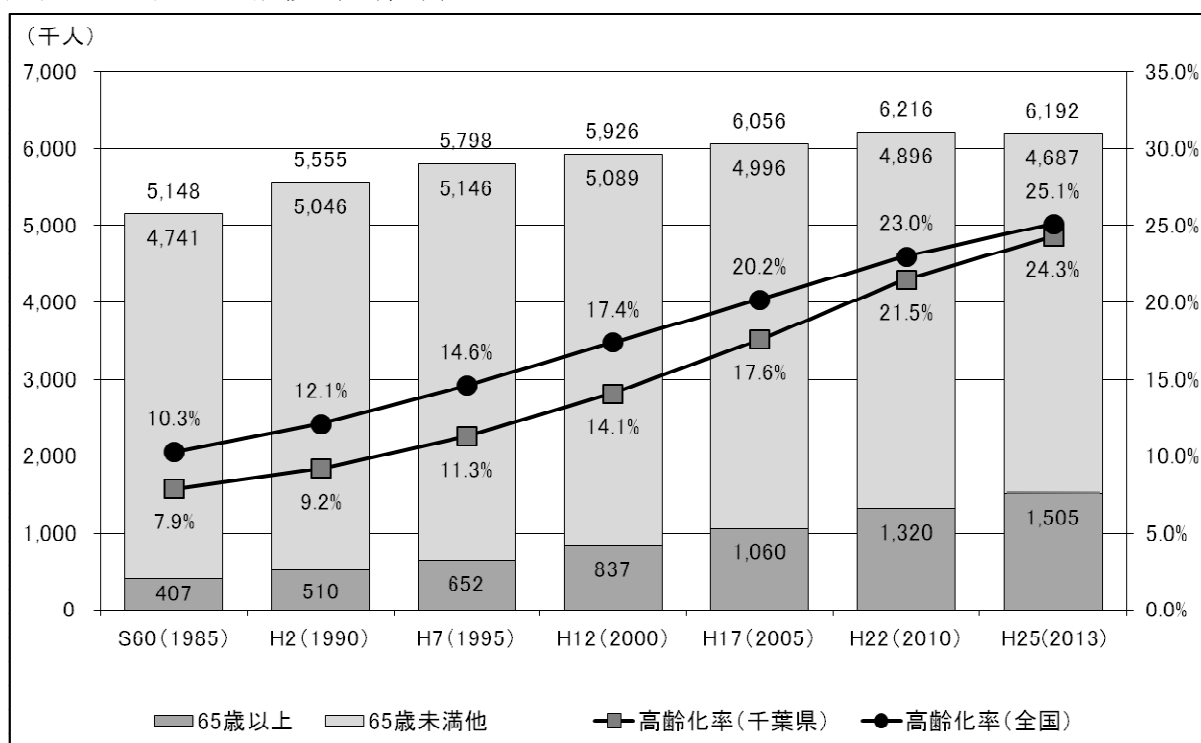
2.1 千葉県の人口の推移と将来推計

2.1.1 人口、高齢者数及び高齢化率の推移

平成22年(2010年)の国勢調査によると、本県の総人口は621万6千人で、全国で6番目となっています。人口は平成22年までは年々増加していましたが、平成25年(2013年)の総務省「人口推計」調査結果では、2万4千人の減少がみられました。

一方、平成22年の65歳以上の高齢者人口は132万人、高齢化率(総人口に対する65歳以上人口の割合)は21.5%で、全国41番目となっています。近年徐々に全国平均との差が縮まっています。(図表2-1)

図表2-1 人口の推移(千葉県)



※ 千葉県高齢者保健福祉計画より抜粋

※ 昭和60年(1985年)から平成22年(2010年)は、総務省統計局「国勢調査結果」をもとに作成。
高齢化率は、年齢不詳を除く総人口に占める割合。

※ 平成25年(2013年)は、総務省統計局「人口推計(平成25年10月1日現在)」をもとに作成。

2.1.2 将来推計人口と高齢化率

国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口(平成25年(2013年)3月推計)」(以下「地域別将来推計人口」という。)によると、今後、本県の人口は緩やかな減少を続け、平成22年(2010年)の621万6千人から、平成37年(2025年)には、598万7千人に減少すると推計されています。(図表2-2)

高齢者人口は「団塊の世代」が65歳以上となる平成27年(2015年)には162万1千人となり、「団塊の世代」が75歳以上となる平成37年(2025年)には179万8千人に達すると見込まれています。(図表2-3)

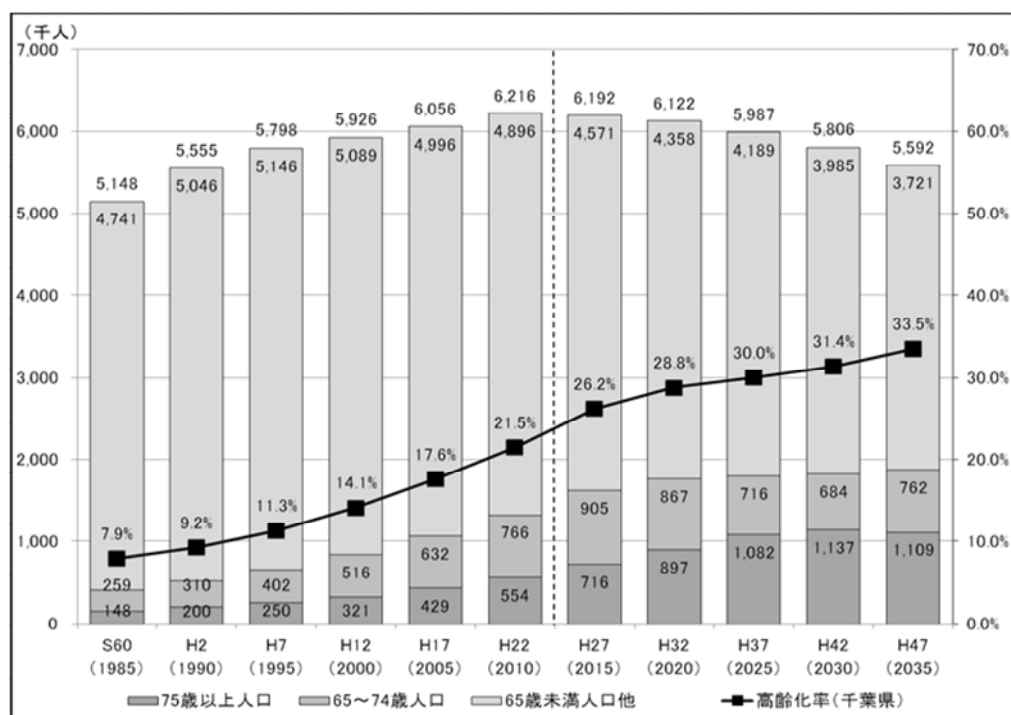
総人口が減少する中で高齢者人口は増加するため、本県の高齢化率は上昇を続け、平成

37年（2025年）には30.0%、平成47年（2035年）には33.5%と、3人に1人が65歳以上と見込まれ、年少人口割合、生産年齢人口割合については、減少が見込まれています。（図表2-4）

高齢者人口では、特に75歳以上人口の増加が顕著で、平成37年（2025年）には108万2千人、総人口に占める割合は18%にまで上昇し、平成22(2010年)の約2倍となる見込みです。（図表2-3）

また、同推計によると、平成22年(2010年)から平成37年(2025年)までは、65歳以上人口の増加率は全国第3位、75歳以上人口の増加率は埼玉県に次いで第2位のスピードで増加することが見込まれています。（図表2-5,2-6）

図表 2-2 人口の推移及び将来推計（千葉県）



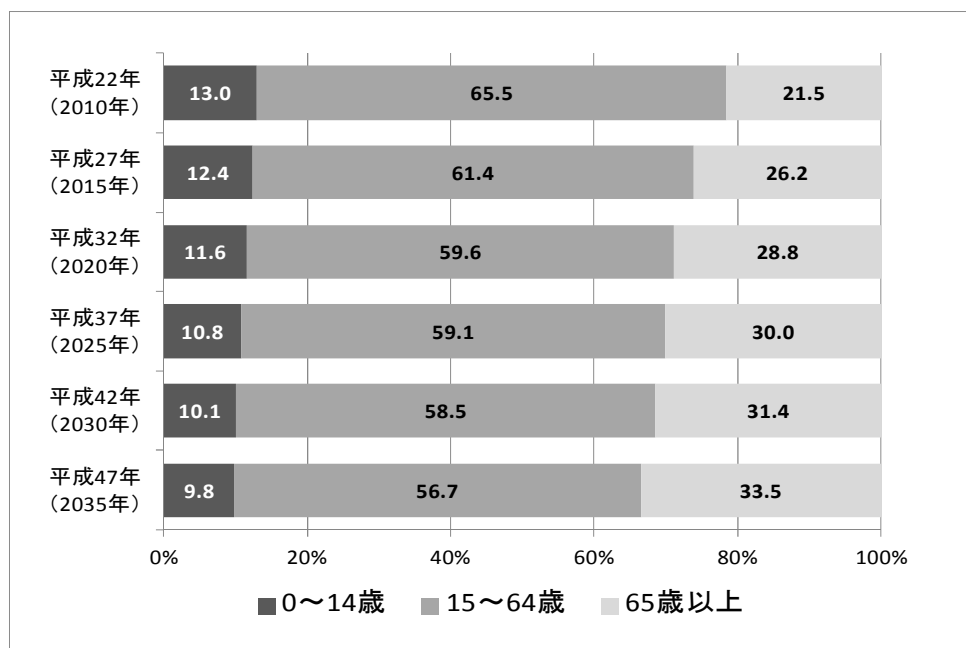
- ※ 千葉県高齢者保健福祉計画より抜粋
- ※ 平成22年(2010年)以前は、総務省統計局「国勢調査結果」による実績値。
- ※ 平成27年(2015年)以降は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」による推計値。高齢化率は、年齢不詳を除く総人口に占める割合。

図表 2-3 人口及び高齢化率の将来推計（千葉県）（単位：千人、%）

	総人口	高齢者人口			高齢化率
		65歳以上	65～74歳	75歳以上	
平成22年(2010年)	6,216	1,320	766(12.3%)	554(8.9%)	21.5%
平成27年(2015年)	6,192	1,621	905(14.6%)	716(11.6%)	26.2%
平成32年(2020年)	6,122	1,764	867(14.2%)	897(14.7%)	28.8%
平成37年(2025年)	5,987	1,798	716(12.0%)	1,082(18.1%)	30.0%
平成42年(2030年)	5,806	1,821	684(11.8%)	1,137(19.6%)	31.4%
平成47年(2035年)	5,592	1,871	762(13.6%)	1,109(19.8%)	33.5%

- ※ 出典等は上記(図2-2)と同じ。
- ※ 平成22年(2010年)～平成47年(2035年)の高齢者人口（「65～74歳」「75歳以上」）中の割合は、総人口に対する割合

図表 2-4 千葉県の人口の将来推計(人口構成)



※ 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」による推計値をもとに作成。

図表 2-5 高齢者人口、高齢化率及び高齢者人口の増加数（都道府県別）（単位：人）

都道府県	平成22年(2010年)		平成37年(2025年)		高齢者人口の増加数	増加率(%)	増加率順位
	高齢者人口	高齢化	高齢者人口	高齢化			
沖縄県	242,510	17.4%	353,379	25.0%	110,869	45.7%	1
埼玉県	1,470,251	20.4%	1,982,496	28.4%	512,245	34.8%	2
千葉県	1,339,291	21.5%	1,797,765	30.0%	458,474	34.2%	3
神奈川県	1,830,009	20.2%	2,447,904	27.2%	617,895	33.8%	4
滋賀県	291,814	20.7%	384,696	27.5%	92,882	31.8%	5
山口県	406,140	28.0%	451,470	35.4%	45,330	11.2%	43
和歌山	274,192	27.4%	302,906	34.8%	28,714	10.5%	44
秋田県	321,028	29.6%	352,577	39.5%	31,549	9.8%	45
高知県	220,334	28.8%	241,572	36.9%	21,238	9.6%	46
島根県	208,548	29.1%	226,144	36.4%	17,596	8.4%	47
全国	29,483,665	23.0%	36,573,488	30.3%	7,089,823	24.0%	—

※ 千葉県高齢者保健福祉計画より抜粋

※ 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」をもとに作成。なお、推計方法により平成22年(2010年)の高齢者人口は年齢不詳分を案分して加えているため実績値とは異なる。

図表 2-6 75 歳以上人口の推計及び増加率（都道府県別）（単位：人）

都道府県		平成 22 年 (2010 年)	都道府県	平成 37 年 (2025 年)	増加率 (順位)
1	東京都	1,234,084	1	東京都	60.2% (8 位)
2	大阪府	842,898	2	大阪府	81.3% (4 位)
3	神奈川県	793,519	3	神奈川県	87.2% (3 位)
4	北海道	671,405	4	埼玉県	99.7% (1 位)
5	愛知県	659,895	5	愛知県	76.7% (5 位)
6	兵庫県	604,460	6	千葉県	92.3% (2 位)
7	埼玉県	589,180	7	北海道	52.5% (13 位)
8	千葉県	562,691	8	兵庫県	59.9% (9 位)
9	福岡県	557,595	9	福岡県	55.9% (11 位)
45	山梨県	110,901	45	佐賀県	25.5% (38 位)
46	福井県	108,880	46	島根県	14.8% (46 位)
47	鳥取県	85,976	47	鳥取県	21.9% (42 位)
	全国	14,193,639		全国	53.5%

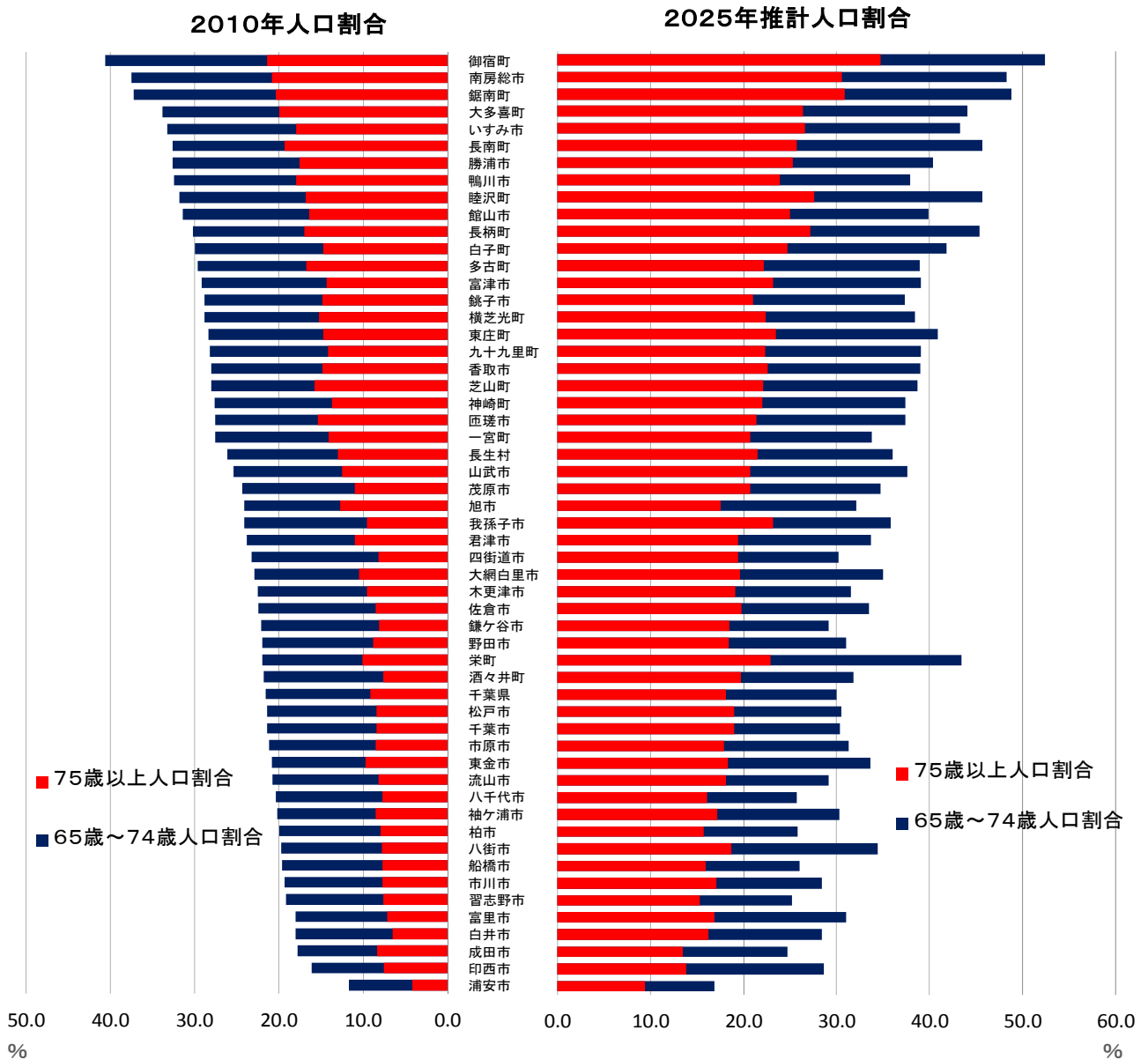
※ 千葉県高齢者保健福祉計画より抜粋

※ 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 25 年 3 月推計）」をもとに作成。なお、推計方法により平成 22 年(2010 年)の 75 歳以上人口は年齢不詳分を案分して加えているため実績値とは異なる。

2.2 県内の人口と将来推計

国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（平成 25 年（2013 年）3 月推計）」（以下「地域別将来推計人口」という。）によると、平成 22 年（2010 年）から、平成 37 年（2025 年）には、多くの市町村で人口が減少すると推計されています。一方、高齢者人口は、一町を除く全ての市町村で増加し、年少人口割合、生産年齢人口割合については、全ての市町村で減少が見込まれています。そのため、平成 37 年までに、全ての市町村で高齢化が進展することが見込まれています。（図表 2-7）

図表 2-7 県内市町村の 2010 年 65 歳以上及び 75 歳以上人口割合と 2025 年推計人口割合



※ 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 25 年 3 月推計）」をもとに作成。